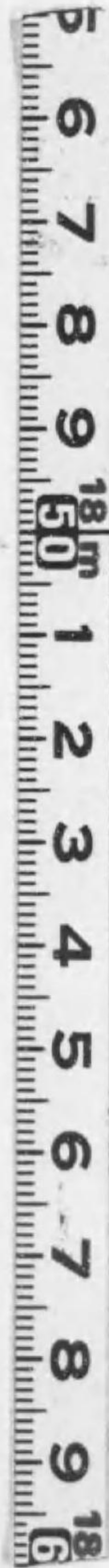


特 116

433

東白川郡ニ於テ  
同社ノ國幣社  
一社アル理由



始



特 116

433

東白川郡ニ於テ  
同社ノ幣社  
二社アル理由

特116  
433

遠藤幹太郎著



東白川郡ニ於テ  
同社號ノ國幣社  
一社アル理由

大正  
12. 3. 5  
内交

確書不朽



同... 白... 氏... 國... 領... 由



蘇... 神... 大... 社...

素奥州一宮、現今福島縣磐城國、國幣中社八槻鎮座都々古別  
 神社ハ延喜式内ノ大社タルコト往古人皇十二代景行天皇ヨリ  
 始リ其後八幡太郎義家公加護ノ神トシテ參拜アリ、引續キ足  
 利時代ニ白河結城氏並ニ水戸佐竹氏等ヨリ數度寄附及ビ大社  
 古社タルノ證明顯然タリ。以來豊臣太閤ヨリ眞筆併ニ侍臣石  
 田三成ノ添書アリ、佐竹氏ヨリ社額三千貫ヲ附セラレ、並ニ  
 書類等モ今ニ確存ス、其後徳川家康公ニ至リ、神領二百石ト  
 改マルコト現然タリ。社ノ境内廣大ニシテ、社務ノ神官上下  
 十六名ヲ有ス。次ニ北方一里餘ヲ隔テテ、伊野上村字馬場ニ  
 近津明神ト云フ神社アリ。是ハ大坂亡ビテノ後寛永二年ニ  
 丹羽五郎左衛門長重、徳川幕府ノ爲ニ右伊野上村ニ轉領セラ  
 レ、徳川氏ヨリ同所ニ築城スルノ命下ル、此所ニ築城ナサシ

ト欲スルニ當リテハ、此地近津明神ノ社地三四反歩場所アルニ付キ是ヲ除カザレバ築城スルコト能ハズ、據テ伊野上村字馬場ニ荆草ノ地アリ、是ヲ清メテ右近津明神ノ轉社地ト定メ當今ノ郷社位ノ資格ニ造築シタルナリ。而シテ右伊野上伊野下ノ二ヶ村ヲ併合シテ丹羽長重築城スル事二年ニシテ成ル是ヲ城下ト、改ムルニ及ビ伊野上、伊野下ノ二ヶ村ヲ合シテ棚倉町ト稱ス。之レ始ナリ。丹羽長重馬場明神ニ對スル徳川二代將軍秀忠公ニ向ヒテ社頭（額）ヲ乞フニ至レリ。徳川家光公之ヲ容レテ始メテ寛永年間百五十石ノ神領ヲ附下セラレタリ。是ヨリシテ九天ニ昇ルノ勢ヲ以テ八槻都々古別神社ト同社號ヲ自ラ附スルニ至レリ、然レドモ之レ曖昧タルニ據リテ、古書籍杯ニ顯ハル、所更ニ無シ、八槻鎮座ノ社ハ、延喜式神名帳

神社叢錄（内務省神社局ノ叢書ナリ）一宮記、陸奥風土記、神名帳考證土代、神名帳頭註、奥州筋巡見自分日記、白河古事考（是ハ文政年中白河城ノ主松平樂翁ノ著ナリ）常陸郡郷考、等ノ書籍ニ顯カナリ、然ルニ棚倉町馬場都々古別社ノ如キモノハ何等ノ書籍ニモ其證跡ダニ有ルコト無シ。國幣社トナル起因茲ニ存スル事アリ、曰ク、明治元年王政御維新ニ付討幕ノ事諸藩ニ起ル、其時棚倉城主阿部美作守討幕ノ議ニ叛シテ、却テ幕府再興ノ事ニ當ルノ時、其旗下トナリシハ馬場近津明神別當不動院ヲ始メ、社務社人約十名足ラズノ者皆同意シテ官軍懲伏ノ祈禱ヲ二夜三日馬場明神ノ庭前ニ呪フ。其序デ同年閏四月二十四五兩日ヲ以テ、白坂ト白河口ニ於テ戰端ヲ開ク事トナレリ、之レ官軍ト徳川勢ト奥州口ノ初戰端ナリ。此時ニ當テ馬場不動院先討トシテ關山觀音堂ヲ陣所ト定

メ大砲掛ノ任ニ當ル、屢々鬪フト雖終ニ利アラズ、敗戦スル所トナリ同年六月二十四日棚倉城陥落スルニ及ベリ。阿部藩主ヲ始メ藩士等殘ラズ仙臺指シテ逃レタリ。不道ニモ不動院ヲ始メ社人共等、神社守護人ノ故ヲ以テ、何知ラヌ顔ニテ其宅ニ歸リ居ル事、官軍薩州藩ノ知ル所トナリ、同月二十七日直ニ不動院ノ首ヲ其宅ニ斬シ、之ヲ棚倉伊野上村ノ中央町堀際ニ三日餘梟ス。尙又不動院ノ代僧タル福藏院明善ナルモノ、首ヲ少シ後レテ又斬スル所トナル。其時八槻神社ノ別當ヲ始メ、同十六名ノ社人等徳川軍ニ叛シテ、快ク官軍ノ來ルヲ迎フ、同月二十八日ヲ以テ其時兵糧米トシテ玄米四斗入二百俵併セテ御勝軍ノ御札守等壹千枚ヲ獻納ス。是ニ據テ時ノ官軍參謀長板垣退助閣下ヨリ受領書ヲ賜ルニ至レリ。今ニ其書

ヲ保存ス、然ルニ明治二年四月ニ至リ 陛下寛大ノ御宥慮ヲ以テ奥州口敗戦ノ諸侯ヲ大赦スル事トナレリ、祿高ヲ減石シテ元地へ歸國スルノ大命ヲ下シ給フニ至レリ。然ルニ元棚倉ノ領主阿部美作守元高十萬石ナルヲ六萬石ニ減ゼラレ歸城スルニ至リ、其臣タル者皆依然トシテ來ル、前記阿部藩ノ戦端ニ加擔セシ廉ヲ以テ馬場別當不動院嗣子高松良廣十八歳ヲ以テ、阿部藩士重役ノ取扱ヒニ任ズルノ布達ヲ其領内へ出ス。最モ安部藩白河城ヨリ棚倉へ轉領シテ以來、僅々一ケ年半ニシテ其地方ノ狀況モ知ラズ、右ニ依テ安部藩士重役協議會ノ席ヲ高松良廣ノ占ムルニ至レリ。斯クシテ馬場ノ社務者等勢頓ニ揚リ、萬事協議ヲ爲ス所トナル。是ニ反シ八槻神社ハ別當ヲ初メトシテ、社務者共繼子取扱ヲ受ル所トナル。八槻社

ニ於テハ往古ヨリ今日ニ至ル迄ノ履歷書及官軍ニ盡シタル功  
勞モ更ニ地ニ陷チタリ。則チ阿部藩士等我意ニシテ天ヲ犯シ  
神ヲ欺キ、前記徳川軍ノ戰鬪ニ不同意ナル遺恨ヲ挿ミ、地頭  
ノ威ヲ奮ヒ、八槻神社ヲ壓迫スル事甚シ。然ルニ明治四年廢  
藩置縣ノ事御布告ト成ルヤ、我磐城國、平町ニ磐前縣廳ヲ置  
ク、素一宮及延喜式内ノ明神大ナルヲ以テ、官國幣社ト改ム  
ルノ御布告トナレリ。我國陸奥州ノ一宮タル都々古別神社ハ  
往古ヨリ八槻鎮座ナル事顯然タリ。延喜ノ由來等悉ク取調書  
差出ス事再三ニ及ベリ、八槻神社ニ於テハ其書類判然タレド  
モ、伊野上村馬場ノ神社ニ於テハ、其證據元ヨリナシ。然ル  
ニ同意ノ阿部藩士等相諮リ、天ヲ詐リ、神ヲ欺キ、八槻都々  
古別神社ノ延喜書類、履歷書等皆棚倉馬場神社ノモノナリト

六

稱スルニ至ル。嗚呼之レ哀シム可シ八槻都々古別神社ノ逆天  
トナル破目ニ至レリ、時恰モ廢藩置縣ノ間際ナリシカバ、八  
槻延喜式内名神大社ノ履歷書等ハ度外視セラレ、馬場ノ神社  
ヲ以テ奥州一宮トシテ磐前縣ヘ其偽書ヲ引繼ク事トナリタリ  
之レ地頭六萬石ノ威ヲ以テ成スコトナリ。之レガ爲八槻都々  
古別神社曠古ノ大變動ヲ惹起スルニ至ル。則チ右ノ如キ書類  
ヲ以テ朝廷ヘ奏達ス、依テ同六年三月ヲ以テ國幣中社ノ勅令  
伊野上村馬場都々古別神社トシテ降下サル其後八槻都々古別  
神社ヲシテ郷社近津神社ト改メ、磐前縣廳ノ指令スル所トナ  
ル、之ニ依テ我郡六十二ヶ村ノ氏子等寢耳ニ水ノ思ヲ成シ、  
蹶然起テ八槻神社ノ郷社ナル事ヲ憤リ、磐前縣廳ヘ窺書ヲ以  
テ迫ルモ當官吏等皆各縣人ノ集リ者ニシテ、深ク地方ノ理由

七

ヲ知ラズ、舊棚倉藩廳ノ引繼ニ據テ是ヲ大政官ヘ取次グト言  
フノミニテ、更ニ要領ヲ得ズ、依テ時ノ東京主務廳ハ教部省  
ナル故、右六十二ヶ村ノ氏子總代四名ヲ以テ、之ニ出頭シ迫  
ル。然レ共官一度勅令トナリシ、伊野上村馬場神社ナルノ故  
ヲ以テ、早速ニ取揚ゲズ、サレド總代人ハ決シテ屈セズ、後  
ニ總代二名トシテ、八槻村渡邊詮右衛門、北山本村佐川芳左  
衛門ト共ニ東京ニ四ヶ年ヲ費シテ止マズ、據テ官深ク考フル  
所アリ、古書類及古書籍等ニ頗ル確實ナル事實ヲ認ムルニ至  
リ、爲ニ之ヲ無視スル事能ハズ、教部省吏員ニ於テ願望ヲ納  
ルル所トナリ、明治十八年七月磐前縣ヲ福島縣ト改ムルノ時  
東白川郡八槻鎮座國幣中社都々古別神社トシテ勅使アリタリ  
棚倉馬場ニ在ル國幣社ヨリ後ルル事、實ニ拾參年、是全ク阿

部藩士等ノ爲ニ都々古別神社ヲ災害ニ陷レラレタルモノナリ  
然レドモ八槻ハ神慮ノ叶フ所トナリ、本郡六十二ヶ村ノ氏子  
等實ニ蘇生ノ想ヒヲナシタリ。今棚倉町馬場ナル都々古別社  
ハ明治元年戊辰ノ役別當一名代僧一名官軍ニ斬首サレタルト  
キノ片身ト見テ可ナラン乎。之全ク人造物ノ國幣都々古別ノ  
社ト云フモ贅言ニ有ラザルベシ。右馬場神社ニ在リテハ、祭  
神及古典ノ祭式等ニ於テモ更ニ其儀式ヲ有セズ。之ヲ見ルモ  
厥ノ曖昧ナル事推シテ知ルベシ。八槻都々古別神社ノ氏子本  
郡南郷六十二ヶ村ヲ除ケバ、馬場都々古別神社ノ氏子ハ、伊  
野上伊野下其他上臺北郷八ヶ村ヨリ外ニナシ。戊辰ノ役ニ鞏  
敵軍トナリシ、阿部藩族ノ緣故ヲ以テ虎ノ威ヲ借ル狐哉トハ  
棚倉馬場ノ國幣社ノ事ナラン。大日本ニハ伊勢神宮ヲ始メ、



當今官國幣社ノ大中小社總テ百七十一社在レドモ、磐城國ハ  
同郡ニシテ一里半内外ノ地ニ同社ノ國幣社タルモノニ社ア  
ル事ハ、全國ヲ通シテ其例更ニ無シ。之レ實ニ疑フ所ノ一例  
ナラズヤ。我大日本國トシテ伊勢神宮ヲ始メ奉リ、名立ッ  
古ノ大社併ニ名跡ノ地タルハ、古書籍等ニ出デザルハ無シ。  
馬場神社ノ如キモノハ關係書類ニ顯レタルハ、嘗テ見知レタ  
ル事ナシ。延喜帝ノ御宇御調度、延喜式神名帳ノ如キニハ都  
々古別神社ノ二社有ル事無シ。八槻神社ト棚倉馬場神社ト並  
ビテハ、棚倉馬場神社ナルモノハ、古書籍等ニ其緣故更ニ見  
ルモノ無ケレドモ、八槻都々古別神社ノ宮司家ハ往古ヨリ長  
官別當ヲ務メ、實ニ名家ナル事人ノ能ク知ル所ナリ。官國幣  
社ニシテ二社在ルノ地ハ、京都ノ上加茂、下加茂ノ兩社、又

十

信州ニ上諏訪、下諏訪社、大和國丹生川上神社ノ上下社、若  
狹國若狹彥神社ノ上下社、紀伊國熊野神社ノ三社、以上五ヶ  
所在ルノミ、是ハ延喜式神名帳ニ明カナリ。其他下野國、國  
幣社ニ荒山ノ神社ハ上都賀郡日光山ニ座スモノ、延喜式内ノ  
社ナリ。又同國河内郡宇都ノ宮市ニ在ル國幣社ニ荒山神社ハ  
郡違ニシテ式外ナル事ヲ白白セリ。尙棚倉馬場神社ノ總テノ  
偽書ハ、白河町字横町ニテ其道ニ堪能ナル、佐藤某ナルモノ  
チシテ作製セシメタルモノナリト云フ。

東白河郡塙下町

(著者)

遠藤幹太郎

十一

287  
456

非賣品

大正十二年一月五日印刷  
大正十二年三月六日發行

福島縣東白川郡境下町

遠藤幹太郎

東京府北豐島郡板橋町七四四

小形一榮

東京府北豐島郡板橋町七四四

豊島印刷所

(著者兼) 印刷人

印刷所

終

